

UEC-Z07評価・開発用ボードセット

UEC-EV07

¥32,184 (税込)

概要

UEC-EV07は、カードサイズコンピューターUEC-Z07の評価開発用ボードセットです。ICEにダイレクト接続可能な40ピンDIPソケットが用意されているだけでなく、モニタープログラム専用シリアルI/OポートやLEDによるレベルモニター機能、リセットスイッチや各種信号モニター用テスト端子等も装備されていますので、ROMモニターやROMインサーキット方式のICEをご使用になる場合にもたいへん便利です。

UEC-EV07とUEC-Z07はコネクタが共通ですから、開発中はUEC-EV07を使用し、組み込み時にUEC-Z07と差し替えることができます。なお、UEC-EV07はUEC-Z07と開発用ボードUEC-EV015のセットとなっており、UEC-Z07は着脱可能な状態で含まれています。

主な特長

ICEダイレクト接続

Z80CPU用ICEプローブが接続可能なDIPソケットが装備されています。

モニタープログラム用シリアルI/Oポート

モニタープログラム(別売)を使用してパソコン等に接続できます。

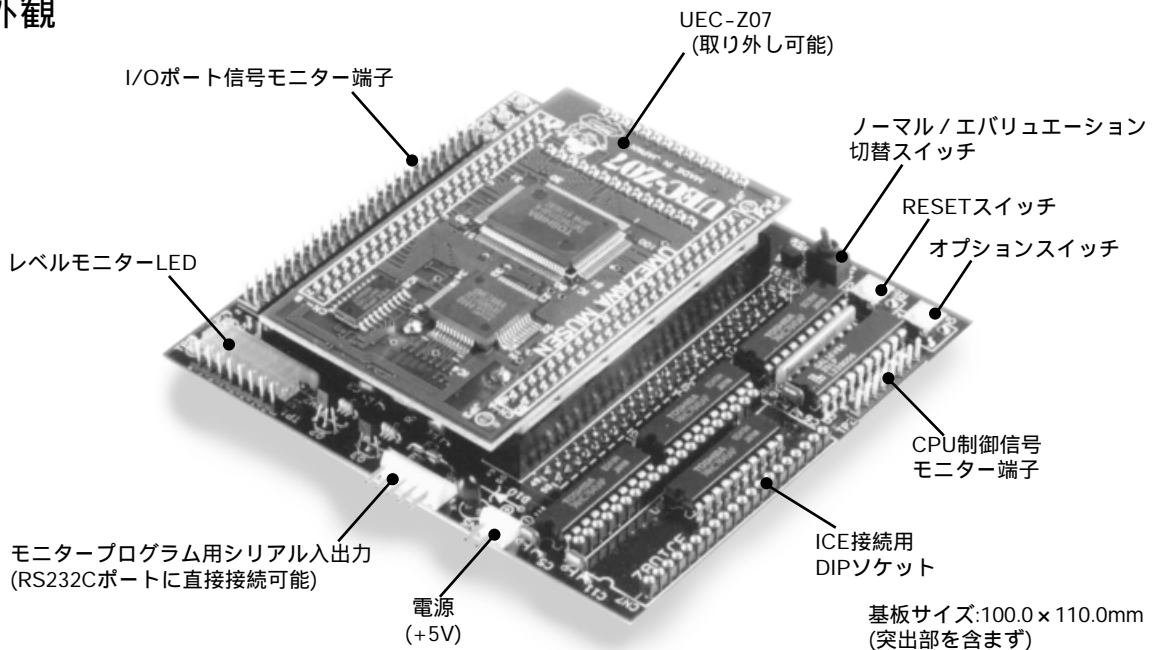
LEDによるレベルモニター(8ビット)

バッファを通してLEDを駆動しているため動作回路にほとんど負荷となりません。

各種信号モニター用テストピン

主要なCPU制御信号とポート信号用にテストピンを用意しています。

外観



UEC-EV07に含まれているUEC-Z07は取り外して単独で使用できますが、一部ジャンパの変更が必要な場合があります。なお、開発用ボードのみの販売もございます。(開発用ボードUEC-EV015はUEC-Z02Aと共通です。)



安全に関する注意事項

本製品には一般電子機器用(OA機器・通信機器・計測機器・工作機械等)に製造された半導体部品を使用しておりますので、その誤作動や故障が直接生命を脅かしたり、身体・財産等に危害を及ぼす恐れのある装置(医療機器・交通機器・燃焼制御・安全装置等)に組み込んで使用しないでください。

また半導体部品を使用した製品は、外来ノイズやサージにより誤作動したり故障したりする可能性がありますので、ご使用になる場合は万一誤作動、故障した場合においても生命・身体・財産等が侵害されることのないよう、装置としての安全設計(リミットスイッチやヒューズ・ブレーカ等の保護回路の設置、装置の多重化等)に万全を期されますようお願い申し上げます。

技術的なお問い合わせは(技術部直通TEL/FAX)



0120-024768

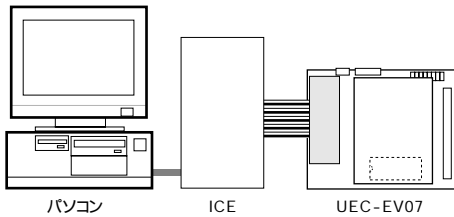


梅澤無線電機株式会社

東京営業部 101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-3-14 TEL03-3256-4491 FAX03-3256-4494
仙台営業所 982-0012 仙台市太白区長町南4丁目25-5 TEL022-304-3880 FAX022-304-3882
札幌営業所 060-0062 札幌市中央区南2条西7丁目 TEL011-251-2992 FAX011-281-2515

開発環境のご提案

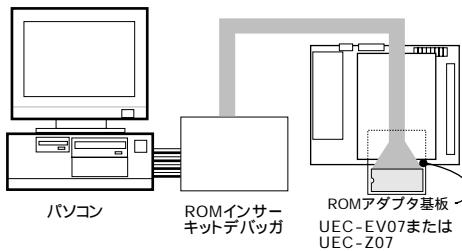
ICEをご使用の場合



ホストマシン上でアセンブラ・Cコンパイラ等を使用してプログラムを開発し、ICEにダウンロードしてデバッグを進めます。システム全体の価格は高価ですが、ハードウェア・ソフトウェア全般のデバッグに最も強力な開発環境を構成します。ICE本体は短期間のレンタルで使用することもできます。

開発に必要なソフトウェア等
 エディタ アセンブラ Cコンパイラ
 ICEコントロールソフトウェア

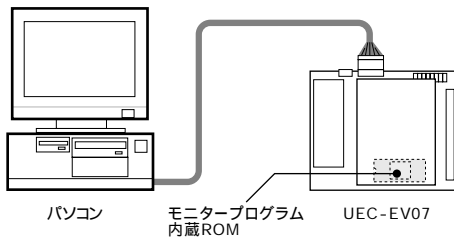
ROMインサーキットデバッガをご使用の場合



ターゲットのROMソケットを通してデバッグを行うタイプのICEはコストパフォーマンスにすぐれ、シンボリックデバッグやソースレベルデバッグが低価格で実現可能な他、コントロールソフトのみの追加購入で86系や68K系のデバッガとしても使用できます。この種のICEが動作するためにはCPUやメモリが正常に機能している必要があるため、周辺回路のバスインターフェースに異常がありCPUが動作しない場合はデバッグできませんので注意が必要です。なお、UEC-Z07, EV07はROMが内側に実装されるため、ROMインサーキットデバッガの接続用アダプタ(別売)を用意しております。

開発に必要なソフトウェア等
 エディタ アセンブラ Cコンパイラ
 デバッガコントロールソフトウェア(デバッガに付属)

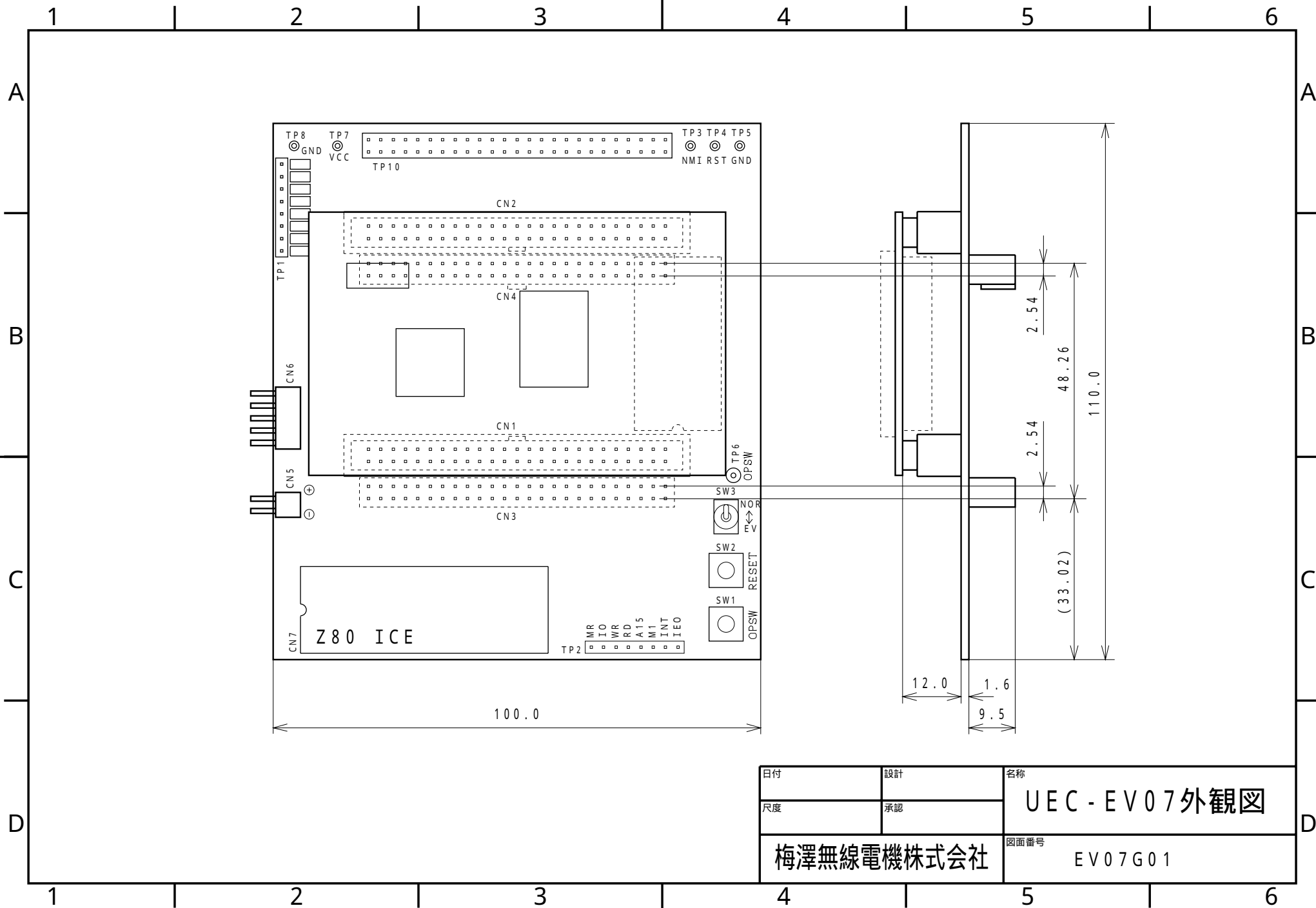
ROMモニタープログラムをご使用の場合



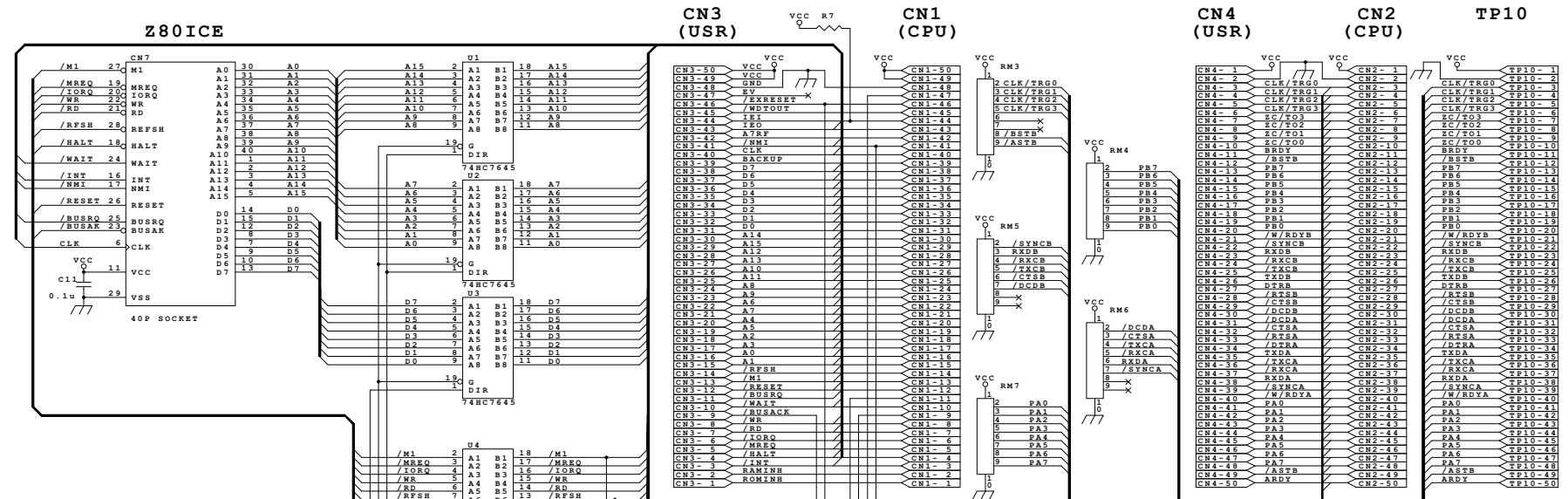
MONZ80(ROMモニタープログラム)をUEC-EV07上で動作させ、パソコン等をターミナルとしてRS-232Cで接続します。ホストパソコン上で開発したプログラムをRAM上に転送し、デバッグを進めます。シンボリックデバッグはサポートされていないため大規模なプログラムの開発には不向きですが、簡単な実験等には小回りのきく便利な開発ツールです。

開発に必要なソフトウェア等
 エディタ アセンブラ ターミナルソフト(パソコン通信用のもの)
 UEC-MONZ80(ROMモニタープログラム)

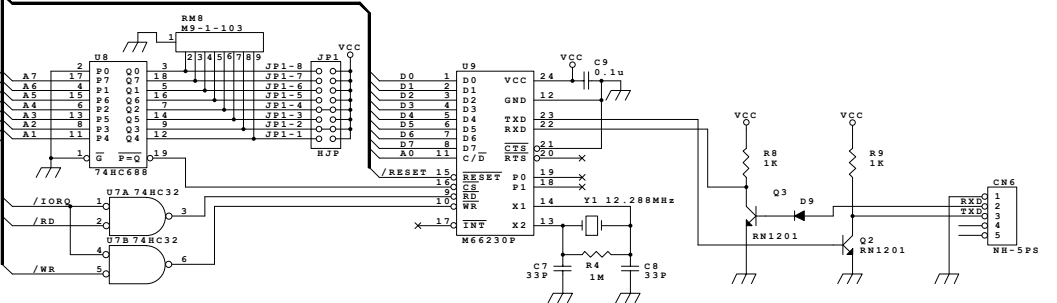
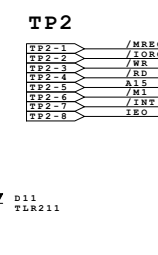
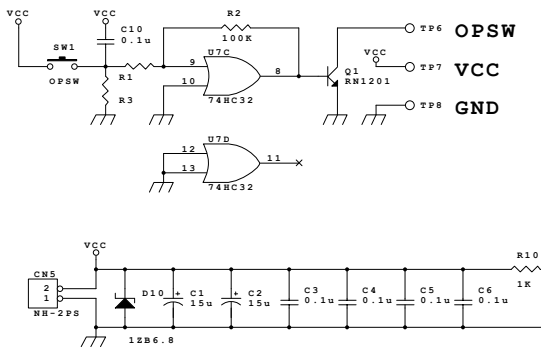
いずれの場合も開発時にはUEC-EV07を使用し、ROM化が完了した時点でUEC-Z07とダイレクトに差替えることができます。



日付	設計	名称
尺度	承認	UEC-EV07外觀図
梅澤無線電機株式会社		図面番号 EV07G01



USR : TARGET BOARD
CPU : CPU BOARD



All registers without value indication are 10K ohm